

米国アカデミー賞公認 アジア最大級の国際短編映画祭ショートショート フィルムフェスティバル & アジア 2015

米国アカデミー賞短編部門選考対象作品を選出する「オフィシャルコンペティション」 地球環境問題をテーマとした「地球を救え！部門」 各審査員決定のお知らせ

俳優の別所哲也が代表をつとめ、6月4日(木)より17回目の開催となる米国アカデミー賞公認・アジア最大級の国際短編映画祭「ショートショート フィルムフェスティバル & アジア 2015(SSFF & ASIA)」の「オフィシャルコンペティション」と、地球環境問題をテーマにした「地球を救え！部門」の審査員が決定しました。

インターナショナル部門、アジア インターナショナル部門、ジャパン部門の3部門からなる「オフィシャルコンペティション」の審査員は、沖方丁さん、奥田瑛二さん、要潤さん、河瀬直美さん、チョン・ウソンさん、藤原紀香さんの6名。同審査員は、3部門より1作品ずつ優秀賞を選出し、その優秀賞3作品の中から、グランプリとなる1作品を選出していただきます。グランプリを受賞した作品は、次年度(2016年度)の米国アカデミー賞短編部門のノミネート選考対象作品となります。優秀賞、グランプリの発表は、6月15日(月)に渋谷ヒカリエ ヒカリエホールAにて開催されるアワードセレモニーにて行われます。

また、「地球を救え！部門」の審査員は、岩田ユキさん、田中律子さん、堀潤さん、ルー大柴さんの4名。本部門の審査員4名は、6月4日(木)に表参道ヒルズ スペース オーにて開催されるオープニングセレモニーに登壇予定、優秀賞(環境大臣賞)1作品を発表いたします。

報道関係者のみなさまにおかれましては、ぜひ本件告知にご協力を頂きますと幸いです。
 また、6月4日(木)、6月15日(月)の各セレモニーの取材ご案内状は別途お送りさせていただきます。

オフィシャルコンペティション 審査員 ※五十音順、敬称略 6月15日(月)のアワードセレモニーに登壇予定です。



沖方丁
(作家)



奥田瑛二
(俳優・映画監督)



要潤
(俳優)



河瀬直美
(映画作家)



チョン・ウソン
(俳優・映画監督)



藤原紀香
(女優)

地球を救え！部門 審査員 ※五十音順、敬称略 6月4日(木)のオープニングセレモニーに登壇予定です。



岩田ユキ
(映画監督・イラストレーター・漫画家)



田中律子
(女優・タレント)



堀潤
(元NHKアナウンサー、
市民ニュースサイト「8bitNews」代表)



ルー大柴
(タレント)

SSFF & ASIA 2015オフィシャルサイト <http://www.shortshorts.org>

【本発表に関するお問い合わせ先】

ショートショート フィルムフェスティバル & アジア事務局(ユース・プランニング センター内)

担当: 白岩(070-6469-1245)・音部(090-2316-7879) TEL: 03-3486-0575 / FAX: 03-3499-0958 e-mail: ssffasia2015@ypcpr.com

【ショートショート フィルムフェスティバル & アジアに関するお問い合わせ先】

担当: 高橋(090-3049-1284) 加賀矢間 TEL: 03-5474-8201 / FAX: 03-5474-8202 e-mail: press@shortshorts.org

冲方丁(作家)

1977年、岐阜県生まれ。96年に「黒い季節」で第1回スニーカー大賞金賞を受賞してデビュー。以後、小説、マンガ、アニメ、ゲームと全方位型の執筆活動を開始。2003年「マルドゥック・スクランブル」が第24回日本SF大賞を受賞。2010年には初の歴史小説「天地明察」が第7回本屋大賞などを受賞、直木賞にもノミネートされ映画化される。2012年に「光圀伝」で第3回山田風太郎賞を受賞。最近作は清少納言を主人公とした「はなとゆめ」(KADOKAWA)。2013年から2015年にかけて劇場公開されているアニメ『攻殻機動隊ARISE』ではシリーズ構成と脚本を担当。

奥田瑛二(俳優・映画監督)

1950年、愛知県生まれ。1979年日活『もっとなやかに もったしたたかに』(藤田敏八監督)の主役に抜擢。以降、映画を中心に、テレビや舞台で二枚目個性派俳優として活躍し、ブルーリボン賞主演男優賞など数々の賞を受賞している。2001年からは映画監督も務め、監督第3作目の『長い散歩』では、第30回モントリオール世界映画祭グランプリ、国際批評家連盟賞、エキュメニク賞の三冠を受賞。画家としても、絵画個展の開催や妻・安藤和津氏との共著で絵本を手がけるなど、様々な分野で注目を集めている。2015年は、主演『赤い玉、』(高橋伴明監督)、『この国の空』(荒井晴彦監督)、『ベトナムの風に吹かれて』(大森一樹監督)、2016年は『64-ロクヨン-』(瀬々敬久監督)、『世界から猫が消えたなら』(永井聡監督)の公開を控える。

要潤(俳優)

1981年生まれ。香川県出身。2001年『仮面ライダーアギト』(テレビ朝日)でデビュー。以降、多くの映画、ドラマ、舞台、CMで活躍中。主な出演に、映画『CASSHERN』、『UDON』、『ピューと吹く! ジャガーTHE MOVIE』『GOEMON』『神様のカルテ』『劇場版タイムスcoopハンター』、2016年公開の『星籠の海 探偵ミタライの事件簿』。ドラマ「GOOD LUCK!!」(TBS)、「流星の絆」(TBS)、「タイムスcoopハンター」(NHK)、大河ドラマ「龍馬伝」(NHK)、「早海さんと呼ばれる日」(フジテレビ)「空飛ぶ広報室」(TBS)、大河ドラマ「花燃ゆ」(NHK)などがある。

河瀬直美(映画作家)

生まれ育った奈良で映画を創り続ける。映画表現の原点となったドキュメンタリー『につつまれて』『かたつむり』で1995年山形国際ドキュメンタリー映画祭国際批評家連盟賞を受賞し国内外で注目を集める。1997年、初劇映画『萌の朱雀』でカンヌ国際映画祭カメラドール(新人監督賞)を史上最年少で受賞。2007年『殞の森』で審査員特別大賞グランプリを受賞。2009年にはカンヌ国際映画祭に貢献した監督に贈られる「黄金の馬車賞」を受賞、2013年には日本人監督として初めて審査員を務めた。昨年『2つ目の窓』を公開し、最新作『あん』は2015年5月30日より全国公開。また、フランス芸術文化勲章「シュヴァリエ」を叙勲し、地元奈良では「なら国際映画祭」のエグゼクティブディレクターとして奔走中。

チョン・ウソン(俳優・映画監督)

1973年生まれ。1994年に映画『千年愛-クミホ-』でデビュー。『ビート』(1997)や『太陽はない』(1998)などの作品で実力派若手俳優としての地位を確立した。その後も『ユリオン』(1999)『MUSA-武士-』(2001)『トンケの蒼い空』(2003)、『私の頭の中の消しゴム』(2005)、『サッド・ムービー』(2005)、『デイズ』(2005)、『グッド・バッド・ウィアード』(2008)、『レイン・オブ・アサン』(2010)など多数の映画に出演し様々な役を演じた。さらに『監視者たち』(2013)でのカリスマ的な演技で新境地を開き、『神の一手』(2014)ではアクションを披露した。2014年の『愛のタリオ』ではこれまでのイメージを覆し、同年の主演作『Remember O Goddess(英題)』ではプロデュースも手掛け、監督やプロデューサー業へと活躍の幅を広げている。

藤原紀香(女優)

兵庫県出身。俳優、声優、司会業のほか、京都国立博物館文化大使、赤十字広報特使を長年務めるなど、幅広い分野で活躍中。自身のNPO「Smile Please世界子ども基金」の功績から日経ソーシャルイニシアチブ特別賞を受賞。愛用品を集めた心とカラダの美容サイト「紀香バディ.com」も好評、売上の一部は子どもたちの教育支援事業に役立てられている。2015年7月にスタートする主演テレビドラマ「ある日、アヒルバス」では、初のバスガイド役に挑戦。さらに愛の物語を心に残る名曲と躍動するダンスでつづる、ブロードウェイミュージカルの傑作「南太平洋」に主演、同年7月から8月にかけて全国ツアーを予定している。

岩田ユキ(映画監督・イラストレーター・漫画家)

静岡県島田市出身、OLとして地元企業に勤務後、デザイン専門学校に進学、卒業後 大阪の文具メーカーでキャラクターデザイナーとして勤務。上京後は、フリーイラストレーターとしてファッション誌や、文具デザインで活動する。2000年 映像制作を開始。『新ここからの景』が、PFF審査員特別賞を始め多くの映画祭で受賞する。2005年『おさげの本棚』で商業映画デビュー。2007年『檸檬のころ』で長編映画を初監督。2009年『8ミリメートル』にてSSFF & ASIA 2010ミュージックShort部門にてPV部門優秀賞を受賞。2011年『指輪をはめたい』脚本・監督。雑誌cinema☆cinemaにて漫画「銀幕髭サーカス」を連載。2014年 アプリケーション『吾輩はバラバラ漫画家である』を発表。

田中律子(女優・タレント)

ドラマバラエティ、CM等で幅広く活動。

自然環境保護の為、NPO法人「アクアプラネット」で理事長を務めながらサンゴ礁の再生活動も行う。また、自身もヨガインストラクターを務め、昨年、一般社団法人「日本サップヨガ協会」を立ち上げ会長を務める。

堀潤(元NHKアナウンサー・市民ニュースサイト「8bitNews」代表)

1977年7月9日生まれ。兵庫県出身。立教大学文学部ドイツ文学科卒業、2001年NHKに入局。「ニュースウォッチ9」「Bizスポ」などの報道番組を担当。2012年6月、市民ニュースサイト「8bitNews」を立ち上げる。2013年4月1日付でNHKを退局。現在は、「モーニングCROSS」(東京MX)のメインMC、「JAM THE WORLD」(J-WAVE)火曜日のメインパーソナリティーなどを担当し、幅広く活躍中。

ルー大柴(タレント)

1954年新宿に生まれる。日本語と英語をトゥギャザーした話術を使う独自のキャラクターで活躍。芸能活動のほか、2007年NHKみんなのうたに採用された「MOTTAINAI」をキッカケに、富士山麓の清掃や地域のゴミ拾いをするなど環境活動にも積極的に取り組む。趣味はドジョウやメダカの採集、水墨画。茶道・遠州流師範、山野美容芸術短期大学客員教授も務める。

オフィシャルコンペティションと地球を救え！部門について

■オフィシャルコンペティション(米国アカデミー賞短編部門ノミネート選考対象部門)

- ・**インターナショナル部門** 応募数: 3436作品(国数:75カ国) 上映数: 45作品(国数:26カ国)
- ・**アジア インターナショナル部門** 応募数: 760作品(国数:20カ国) 上映数: 18作品(国数:10カ国)
- ・**ジャパン部門** 応募数: 363作品 上映数: 22作品

世界中から応募されたショートフィルムの中から、メッセージ性、エンターテインメント性の優れた選りすぐりの約100作品を上映。部門ごとに1作品を優秀賞として選定します。各部門で優秀賞を受賞した3作品の中から選出されるグランプリ作品は、第88回(2016年)の米国アカデミー賞短編部門ノミネート選考対象作品となります。

優秀賞賞金:60万円 ※アジア インターナショナル部門、ジャパン部門の優秀賞には東京都知事賞が贈られます。

■地球を救え！部門 応募数:144作品(35カ国) 上映数:11作品(7カ国)

地球環境に関する様々なテーマの作品を上映します。

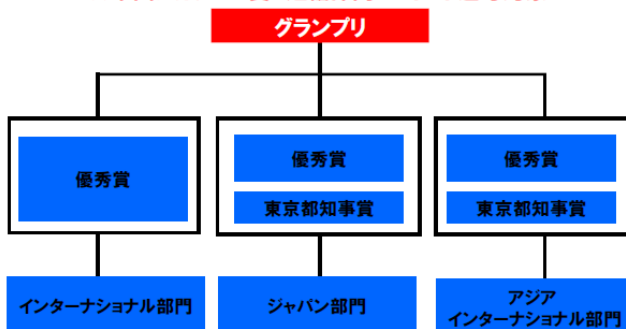
優秀賞(環境大臣賞)賞金:50万円

※J-WAVEアワード 賞金:50万(J-me Cinema Circle審査員によって決定する賞)

Short Shorts Film Festival & Asia 2015

AWARDS

★米国アカデミー賞 短編部門ノミネート選考対象



■各会場における開催期間

<東京会場>

表参道ヒルズ スペース オー	6月4日(木) オープニングセレモニー
	6月5日(金)～6月7日(日)
シダックス・カルチャーホール	6月5日(金)～6月7日(日)、6月11日(木)～6月14日(日)
アンダーズ 東京 アンダーズ スタジオ	6月8日(月)～6月12日(金)
ラフォーレミュージアム原宿	6月11日(木)～6月14日(日)
iTSCOM STUDIO & HALL 二子玉川ライズ	6月12日(金)～6月14日(日)
渋谷ヒカリエ ヒカリエホールA	6月15日(月) アワードセレモニー(授賞式)

<横浜会場>

ブリリア ショートショート シアター	6月5日(金)～6月14日(日) (横浜開催)
--------------------	-------------------------

※上映期間は6月4日(木)～6月14日(日)です。上映会場は(渋谷ヒカリエを除く)東京5会場、横浜1会場となります。

※オープニングセレモニー、アワードセレモニーは一般の方は参加できません。

		表参道ヒルズ スペース オー	シダックス・カル チャーホール	アンダーズ 東京 Andaz Studio	ラフォーレ ミュージアム原宿	iTSCOM STUDIO & HALL 二子玉川ライズ	ブリリア ショートショート シアター	渋谷ヒカリエ ヒカリエホールA
6月4日	木	★ オープニング セレモニー						
6月5日	金	●	●				●	
6月6日	土	●	●				●	
6月7日	日	●	●				●	
6月8日	月			●			●	
6月9日	火			●			●	
6月10日	水			●			●	
6月11日	木		●	●	●		●	
6月12日	金		●	●	●	●	●	
6月13日	土		●		●	●	●	
6月14日	日		●		●	●	●	
6月15日	月							★ アワード セレモニー (授賞式)

■一部の有料イベントを除き、東京会場、横浜会場ともに無料上映となります。

※事前予約はオフィシャルサイトから登録が可能です。

※上映プログラム・イベントは決定次第、順次オフィシャルサイトにアップします。

■東京会場限定 スペシャルパスポート

4,000 円(映画祭オリジナルグッズ付)

下記東京3会場の有料イベント以外の全てのプログラムを事前予約・回数制限なくご覧いただけます。

(表参道ヒルズ スペース オー、ラフォーレミュージアム原宿、iTSCOM STUDIO & HALL 二子玉川ライズ) チケット販売はオンラインにて受け付けます。詳細は映画祭オフィシャルサイトをご確認ください。

※キャンセルによる払い戻しの手数料はお客様負担になりますので、予めご了承ください。

■ショートショートフィルムフェスティバル & アジアについて

米国アカデミー賞公認、日本発・アジア最大級の国際短編映画祭。新しい映像ジャンルとして「ショートフィルム」を日本に紹介するため、米国俳優協会(SAG)の会員でもある俳優の別所哲也が、創立者として1999年に東京・原宿で誕生。初年度は映画『スターウォーズ』で有名なジョージ・ルーカス監督の学生時代のショートフィルムも6作品上映し、その後も毎年応援を頂いています。2001年には「ショートショート フィルムフェスティバル(SSFF)」と名称を改め、2004年には米国アカデミー賞公認映画祭として認定されました。これにより、映画祭のグランプリ作品が、次年度のアカデミー賞短編部門のノミネート選考に入ることになり、日本からオスカー像を手にする若手が出現する可能性への架け橋ができました。

また、アジア発の新しい映像文化の発信・新進若手映像作家の育成目的から同年に誕生した「ショートショート フィルムフェスティバル アジア(SSFF AISA 共催:東京都)」が誕生し、現在、この2つの映画祭が“SSFF & ASIA”として開催されています。上映内容は、オフィシャルコンペティションをはじめ、「音楽」「環境」「CGアニメーション」など、様々なカテゴリーのプログラムで構成されています。2008年には、横浜みなとみらいにショートフィルム専門映画館、ブリリア ショートショート シアターを設立。映画祭としてはこれまでに延べ28万人を動員。日本にショートフィルムを啓蒙する役割を果たすべくその活動領域を広げるとともに、世界に羽ばたく若きクリエイターを本映画祭は応援していきます。